

2020年3月末の基準価額の下落について

市況動向と今後の相場見通し (2020年4月7日現在)

【市況動向】

2019年4月以降の世界株式市場は、米中貿易摩擦の激化、香港でのデモ長期化や英国のEU(欧州連合)離脱問題の混乱などを受けて軟調に推移する場面があったものの、米国を始めとした各国金融当局による緩和的な金融政策を受けた低金利環境下で、比較的堅調に推移してきました。

しかし、米中貿易協議の進展など、これまでの不透明要因が払拭されつつある中、2020年2月下旬以降新型コロナウイルスの世界的感染拡大による景気減速懸念の高まりから大きく下落に転じました。感染拡大を受け、各国金融当局による緊急利下げや政府による経済支援策が打ち出されているものの、感染拡大に終息の兆しが見えない中で、値幅の大きな展開が続いています。

為替市場は米中貿易摩擦が激化する中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる円が買われる展開が続いてきました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念から、企業の手元資金調達などドル需要が高まり、2月下旬には10カ月ぶりに一時1米ドル=112円を付ける円安米ドル高となりました。

【今後の見通し】

感染拡大に終息の兆しが見えない中、経済活動の停滞懸念から短期的には上下に振れやすい展開が続くものと思われます。しかし、年後半にかけては政府の経済対策や緩和的な金融政策等がサポート材料となり、緩やかな回復基調に戻るものとみています。

<株式の推移>



<REITの推移>



<為替 (米ドル/円、豪ドル/円) の推移>



データ期間：2016年12月30日～2020年4月3日(日次)

出所)ブルームバーグ、S & Pのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

世界株式：MSCI KOKUSAI(除く日本)、豪州株式：ASX200指数、国内株式：TOPIX、世界REIT：S&PグローバルREIT指数(除く日本)、豪州REIT：ASX200REIT指数、国内REIT：東証REIT指数 ※ いずれも配当除き、現地通貨ベース

各ファンドの基準価額(2020年3月31日現在)

| ファンド名 | 3月末基準価額 | 騰落率(トータルリターン) | |
|---|---------|---------------|--------|
| | | 1ヵ月 | 3ヵ月 |
| ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型) | 5,659円 | -46.8% | -49.4% |
| ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型) | 4,858円 | -46.7% | -49.4% |
| ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型) | 2,046円 | -31.6% | -38.0% |
| ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) 【愛称：ラッキー・カントリー】 | 2,713円 | -31.5% | -37.9% |
| ニッセイ世界リートオープン(年2回決算型) | 10,113円 | -30.1% | -34.6% |
| ニッセイ世界リートオープン(毎月決算型) | 2,945円 | -30.0% | -34.3% |
| ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型) | 2,133円 | -22.7% | -33.0% |
| <購入・換金手数料なし> ニッセイグローバルリートインデックスファンド | 11,850円 | -25.3% | -28.7% |
| ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型) 【愛称：USドリーム(年2回)】 | 10,617円 | -19.3% | -27.4% |
| ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型) 【愛称：USドリーム(毎月)】 | 4,562円 | -19.4% | -27.3% |
| ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド(毎月決算型) 【愛称：豪州力】 | 3,360円 | -20.2% | -25.3% |
| <購入・換金手数料なし> ニッセイJリートインデックスファンド | 14,966円 | -20.4% | -24.6% |
| ニッセイJ-REITファンド(年1回決算型) | 12,935円 | -19.7% | -23.8% |
| ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型) | 4,115円 | -19.6% | -23.7% |
| ニッセイ北欧株式ファンド(為替ヘッジなし) 【愛称：オーロラスター】 | 8,334円 | -15.7% | -22.6% |
| <購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド | 13,826円 | -15.0% | -21.6% |

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。騰落率は税引前分配金再投資基準価額より算出。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

投資信託のリスク

- 投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産の場合には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- 投資信託は、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、リスクを十分にご認識ください。
- 基準価額の変動要因は個別の商品毎に異なります。ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資信託の費用

<購入時に投資者が直接的に負担する費用>

- 購入時手数料

<換金時に投資者が直接的に負担する費用>

- 信託財産留保額
- 換金手数料

<保有期間中に投資者が信託財産で間接的に負担する費用>

- 運用管理費用(信託報酬)
- 監査費用
- その他の費用・手数料(組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用、借入金の利息等)

※ 当該費用とその合計額、上限額および計算方法は個別の商品毎に異なりますので、当資料では記載していません。
 ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。投資信託のご購入に際しては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の市況動向等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

| | |
|--|--|
| ファンドに関するお問合せ先 | お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は |
| ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506(午前9時～午後5時 土、日、祝祭日除く) ホームページ：https://www.nam.co.jp/ |  東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 委託会社【ファンドの運用の指図を行います】 | |
| ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 | |